

# 潮香だより



## 今日から7月！

今日から7月。早いもので新年度も3ヶ月が過ぎ、第1学期も残り3週間となりました。

私も着任して3ヶ月が経ちました。朝はできるだけ学区内を歩き、登校の様子を観察しながら、「あいさつ」によるふれあいを心がけ、子どもたちから元気ももらってきました。

## あいさつから対話へ…

〈社会に生きてはたらく力が弱い〉

2012年、経団連の「新卒者採用に関するアンケート調査結果」の中で、採用に重視する要素のトップは何か、ご存じですか？過去9年間も同じで、「コミュニケーション能力」だそうです。約83%の断トツのトップです。裏を返せば、自分の言葉で適切に答える能力が弱いということです。

携帯電話やスマートフォンも電話機能からメール機能重視になり、様々な場所でしゃべらずにメールをしている姿が多くなっています。コンビニやスーパーでも、物とお金を差し出すだけですみません。自動販売機でジュースを買っても、しゃべるのは自動販売機です。余談ですが、カーナビ「あと500メートル先、信号を左折です。」も便利にしゃべってくれます。

さて、ご家庭ではいかがでしょうか。「学校はどうだった？」「べつに…。」「ふつう…」と言ってテレビやゲームに興じている状態ではないでしょうか。つまり子どもたちは、コミュニケーションをあまり必要としない世界の中で育っているとと言えます。

〈対話力をつけよう〉

「コミュニケーション能力は対話から」育まれます。「おはよう」「いってらっしゃい」…「お帰りなさい」「ただいま」あいさつは、短い言葉ですが人と人が心を通わせる不思議な力を持っています。毎日交わせば、その日の心の状態も分かります。それをきっかけに、「今日は学校で楽しいことがあるのかな？」「友達といやなことがあったの？」と対話の機会を増やしてください。

「話を聞いて欲しい。」「話をしたい。」ときが対話のチャンスです。「話をすれば相手に分かってもらえる。」「話をすれば自分の考えが明確になる。」など対話のよさを知り、対話への意欲を持たせることが大切です。

学校では、「話す・聞く・話し合う・書く」ことを中心とした言語活動に重点を置いた授業づくりに取り組んでいます。家庭の中で育まれる対話力、学校で培う対話力、それぞれの役割を果たしながら子どもたちのコミュニケーション能力を高めていきたいと考えています。

## 短期集中、水泳学習！

6月17日、全校のトップをきって3・4年生がプールに入水しました。6月10日に行ったプール開き後、天候が思わしくなく、なかなか入水できず最初の水泳学習がこの日になってしまいました。翌日には、1年生と6年生が合同で入水。初めて小学校のプールに入る1年生をサポートしました。

1学期間という限られた水泳学習になりますが、昨年までの自分の泳力等を踏まえ、「今年の目標」を事前に立てさせ、その目標に向かって取り組ませ、一人一人がその目標を達成できるように支援していきたいと考えています。

### 児童の作文より

「プール開きを終えて」 6年 K・Y  
1年生に水を嫌がる子がいたけど、みんな1年生にやさしくしていたから良かったです。僕も、プールや海は好きじゃないので少しかその気持ちはわかると思います。

僕のプールの目標は、前は25m泳げたので、次は50m泳げるようにしたいです。

